

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くお愛用いただきたために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上の注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

本機の特長

- 電波時計（国内2局対応自動選局機能付）
福島県「おおたかどや山」(40kHz)
佐賀県と福岡県の境「はがね山」(60kHz)
- 正確な時刻と月、日、曜日を表示
- 5段階で変化する電子音アラーム
- 一度止めても再び鳴り出すスヌーズアラーム
- 温度センサーにより、温度を表示
- 湿度センサーにより、湿度を表示
- 夜見えライト（アラームオン／スヌーズのとき）

ご使用上の注意

- 本機は精密な電子部品で構成されていますので、「極端な温度条件下」、「強い磁場の当たる場所」、「はげしい振動のある場所」での使用や保管および「強いショック」をさせてください。
- 高温では電池寿命が短くなったり故障の原因になったりしますので、暖房器具の近くや直射日光の当たる所では使用しないでください。
- 浴室など湿気の多い場所では使用しないでください。
- 以下のようなところに本機を置くことはお避けください。
 - テレビの上など（テレビ画面に色むらが起こる場合があります）
 - 時計、キャッシュカード、フロッピーディスク、プリペイドカード、カセットテープの近くなど
- 極度の静電気により誤った表示をしたり、電子部品が破損する場合があります。
- 静電気により一時的に液晶の点灯していない部分にじみ現象が発生することがあります、機能に影響はありません。
- 本機を分解しますと、精度や機能が低下しますので、絶対に分解しないでください。
- 汚れは、「乾いた柔らかい布」か「中性洗剤に浸し固くしぼった布」でおふきください。シンナー・ベンジンなどの揮発油やアルコール類では絶対につかないでください。
- 液晶表示は、使用温度範囲（0°C～40°C）を超えると、表示が見にくくなることがあります。
- 液晶表示は、見る方向によって表示が見にくくなることがあります。
- この製品は、日本電波仕様です。海外で使用した場合、まれに日本標準電波を受信して、日本の時間を表示してしまうことがあります。海外でのご使用には対応しておりません。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

電源に関するご注意

- 電池の残量が残っている場合でも1年に1回は全部の電池を交換してください。
- 電池が消耗しますと一般的に以下のようことが起こります。このようなときは長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください（定期的な交換をおすめします）。
 - 誤動作（時刻やアラームなどのリセット、報音の停止、時刻狂いなど）することがあります。
 - 液晶表示は「薄くなったり」「消えたり」します。
 - アナログ時計は「時計が遅れたり」「針が止まつたり」します。
- 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- お買い上げ時に付属している電池はモニター用電池*のため、電池新品時の電池寿命に満たないうちに切れることができます。
- *モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のこと、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
- 電池が液漏れを起こした場合は液に触れずにすぐにふきとってください。

製品仕様

- 水晶発振周波数：32,768Hz
表示内容：アナログ部=時・分・秒（3針）
デジタル部=カレンダー（月・日・曜日）／アラーム時刻（時・分）、温度・湿度表示
電波受信機能：自動受信（7回／日*）、手動受信
*午前2:01／午前3:01／午前6:01／午前10:01／午後2:01／午後6:01／午後10:01
自動選局機能
[受信電波=長波標準電波 JJY]
周波数=40kHz／60kHz
「年・月・日・曜日」「時・分・秒」を受信
精度：電波受信による時刻修正が行えない場合は、デジタル部は平均月差±30秒以内
アナログ部精度はデジタル部と同等（デジタル部の連針信号により駆動）
アラーム機能：セット単位=分、報音時間=1分間、電子音アラーム（通常アラーム、スヌーズアラーム／全7回）、アラームモニター
温度計測機能：計測範囲=0°C～40°C*、計測精度=±2°C (0°C～40°C) *2
*1に1回計測します。*4、最高／最低表示（今日、前日）
湿度計測機能：計測範囲=20%～90% (5°C～45°Cにおいて結果表示)*3
計測精度=±10% (5°C～40°C) (例 温度50%の場合、40%～60%となります) *2
*1に1回計測します。*4、最高／最低表示（今日、前日）

安全上の注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。

絵表示の例

- △記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。
- 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。
- 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

袋をかぶって遊ばないでください

製品本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管または廃棄してください。窒息の原因となります。

電池の取り扱いについて

使用している電池を取り外した場合は、誤って電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



設置場所について

本機を不安定な場所に置いたり、不確実な掛け方をしないでください。倒れたり、落ちたりしてケガや故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

電池について

電池は使い方を誤ると液漏れによる周囲の汚損や、破裂による火災・ケガの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 極性（+と-の向き）に注意して正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておいてください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

電池の着脱を長く伸ばした爪で行うと、思わぬケガをおこす恐れがありますので、長く伸ばした爪での着脱はおやめください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。また、使用しないときは電池をはずしておいてください。

電波時計について

電波時計とは

正確な時刻情報を「日本標準時」をのせた長波標準電波（JJY）を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。

日本標準時：日本の時刻のもととなるもので、テレビの時報などに利用されています。

この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」などにより制御されています。

電波時計は正確な日本標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理などにより、時刻表示に1秒未満のずれが生じます。

標準電波

標準電波は独立行政法人情報通信研究機構（NICT）が運用しており、福島県の「おおたかどや山」（40kHz）および佐賀県と福岡県の境の「はがね山」（60kHz）から送信されています。

この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や電波対策などで一時送信が中断されることもあります。

電波の受信範囲の目安

条件の良いときは、送信所からおよそ1000km離れた場所でも受信することができます。

- ただし、約500kmを超えると電波が弱くなるので、受信しにくくなることがあります。
- 受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯（昼／夜）などによって受信できないことがあります。
- 電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。
- 一般的に送信所からの距離が近い方の電波が受信しやすいと考えられますが、電波環境や使用場所によっては、送信所からの距離が遠い方の電波が受信しやすい場合があります。



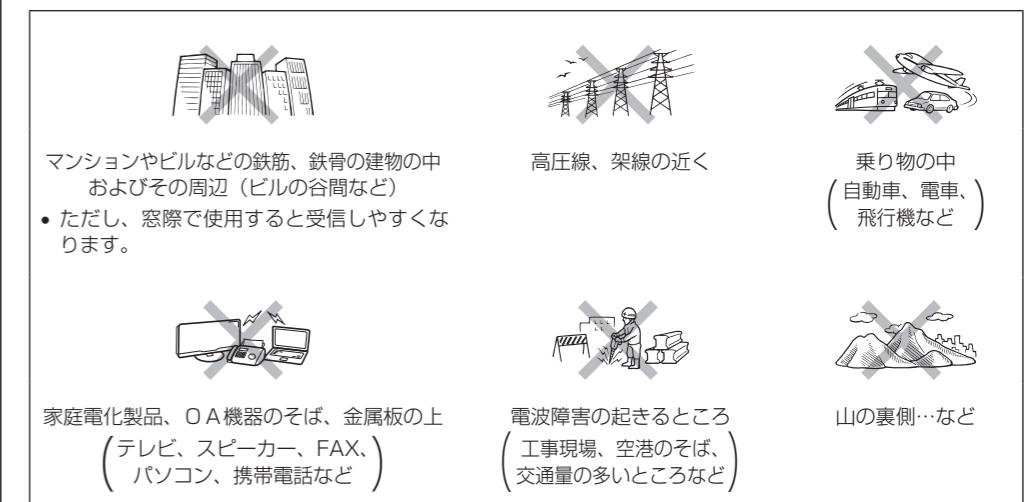
電波受信について

本機は「おおたかどや山」（40kHz）と「はがね山」（60kHz）の2局より受信しやすい方の電波を自動的に選択し受信を行います（自動選局機能）。通常は毎日、電波受信を自動的に行います（自動受信）。

使用場所について

本機は、テレビやラジオなどと同様に、電波を受信するものです。本機を使用するときは、「電波を受けやすい」部屋の窓際などでご使用することをお勧めします。

以下のようないくつかの場所では、電波を受信しにくくなりますので、このような場所は避けて本機をお使いください。



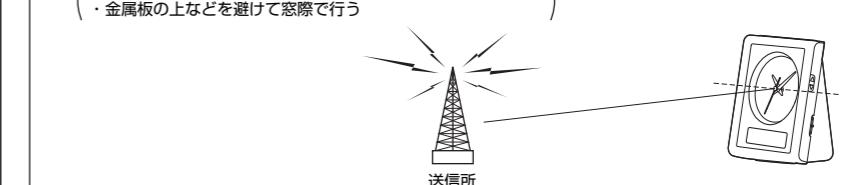
正しく電波受信するために

電波受信できる場所でお使いください（使用場所について参照）。

- 本機を電波受信所方向に向けると、受信しやすくなります（本機に内蔵されている受信アンテナと電波送信所が垂直方向になるようにすると、最も受信しやすくなります）。

最も受信しやすい設置のしかた

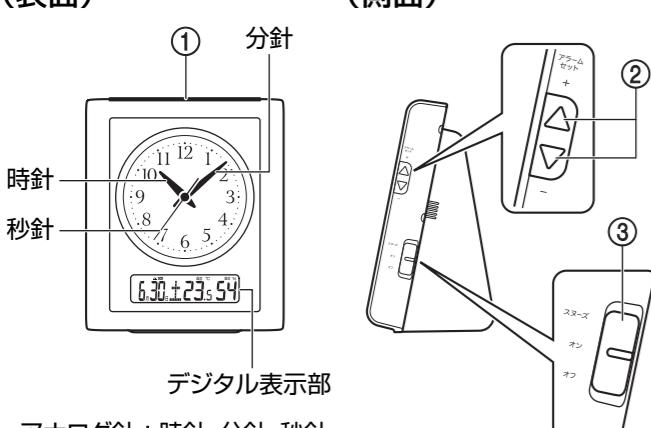
（時計表示部または裏面を電波送信所に向かって設置する）



- 受信中（受信インジケーター表示中）に時計を動かしたりボタン操作をしないでください。
- ボタン操作で現在時刻を修正すると、以後24時間自動受信は行いません。ただし、この間に手動受信を行うと、その時点で解除されます。
- 電波受信を行わない間は、「製品仕様」記載の精度で計時します。
- 電波障害により、誤った信号を受信することがあります。
- 電波の自動受信は、1日7回（午前2:01、午前3:01、午前6:01、午前10:01、午後2:01、午後6:01、午後10:01）行います。ただし、アラームがオンで「自動受信を行う時刻台にアラーム時刻を設定している」場合、その時刻台の自動受信は行いません。
- 例：アラームがオンでアラーム時刻を午前6時15分に設定しているときは、午前6時1分の自動受信は行いません

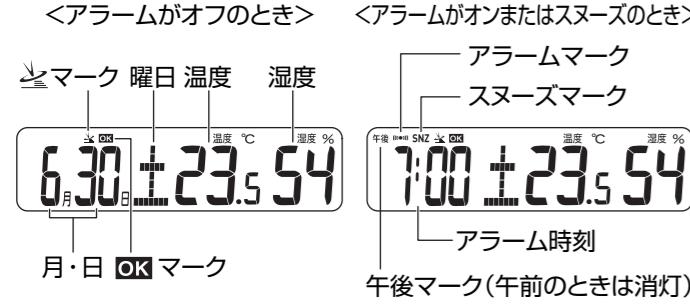
各部の名称と表示の見方

(表面)

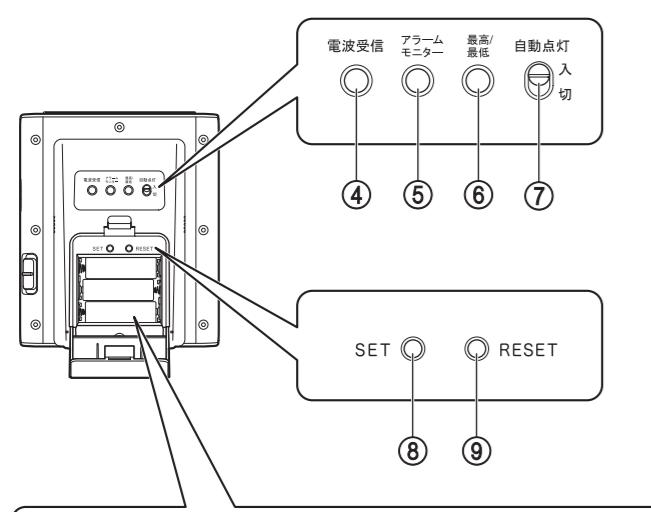


・アナログ針：時針、分針、秒針

●デジタル表示部の見方



(裏面 電池ブタを開けたところ)

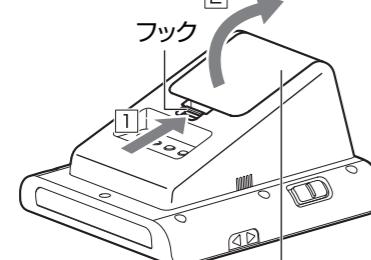


●電池交換のしかた

電池ブタの開け方

① フックを押しながら

② 矢印の方向に開けてください



電池の入れ方



①ボタン (スヌーズ/ライト)

ライトを点灯するときに押します。約5秒間ライトが点灯します。アラーム報音中に音を止めると同時に押します。

②ボタン (アラームセット + -)

アラーム時刻（または現在時刻など）を合わせるときに使います。

③スイッチ (スヌーズ オン オフ)

アラームのスヌーズ/オン/オフを切り替えるときに使います。

④ボタン (電波受信)

すぐに電波を受信したいときに押します（手動受信）。

⑤ボタン (アラームモニター)

アラームの音を試聴するときに押します。

⑥ボタン (最高/最低)

今日と前日の最高温度、最低温度、最高湿度、最低湿度を見るときに使います。

⑦スイッチ (自動点灯 入 切)

入…アラームをスヌーズまたはオンにすると、夜見えライトが自動的に点灯します。
切…夜見えライトは点灯しません。

⑧ボタン (SET)

現在時刻などを合わせるときに使います。

⑨ボタン (RESET)

電池交換後、必ず押します。

・ボタンが押しにくい場合は先端の細いもので押してください（製品を傷つけないようご注意ください）。

★図は操作説明用ですので、実際の製品とはデザインなどが異なることがあります。

はじめてお使いになるときは（電池交換時もご覧ください）

「各部の名称と表示の見方」も一緒にご覧ください。

1 「表示用シール」を取り外します

・機種によりデジタル表示部に「表示用シール」をつけて出荷しております。ご使用の前に必ずこの「表示用シール」を取り外してください。

2 電池を入れます

電池ブタを開き、④の向きに注意して、電池を正しく入れます（「各部の名称と表示の見方」の「電池交換のしかた」参照）。

3 リセット操作を行います

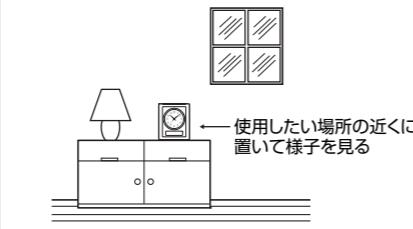
⑧ボタンを押します。

デジタル表示部が「午後 12:00 00」、アナログ針が 12 時の位置まで自動的に送られます。アナログ針が 12 時位置になると自動的に電波受信を開始します。

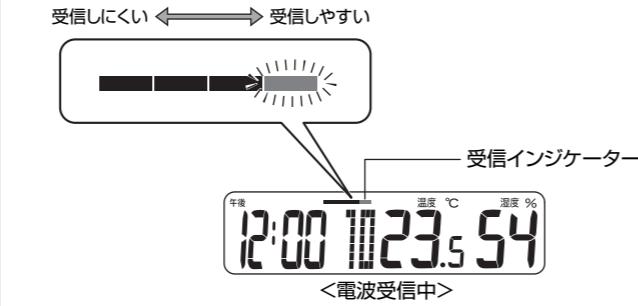
・電池を入れた時点で時計としての動作が始まっていますが、そのままリセット操作をしてください。
・ボタンが押しにくい場合は先端の細いもので押してください（製品を傷つけないようご注意ください）。
・リセット操作が終わったら電池ブタを閉じます。

4 電波受信の様子を見ます（使用したい場所の近くに置きます）

● 使用したい場所の近くに置きます。



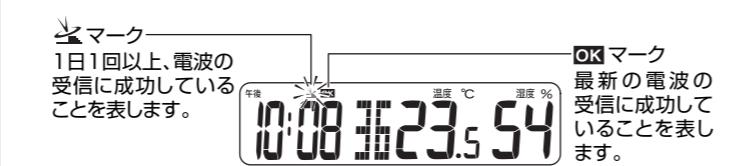
● 置いた場所が電波受信しやすいかどうかを受信インジケーターで確認します。



・電波を受信中は受信インジケーターで受信状態をお知らせします。電波を受信しやすいと多くの点灯します（最大 4 個）。
・受信インジケーターは使用場所を決める際の目安としてお使いいただけます。
・電波の自動受信は、1 日 7 回（午前 2:01、午前 3:01、午前 6:01、午前 10:01、午後 2:01、午後 6:01、午後 10:01）行います。ただし、アラームがオノで「自動受信を行う時刻台にアラーム時刻を設定している」場合、その時刻台の自動受信は行いません。
例：アラームがオノでアラーム時刻を午前 6 時 15 分に設定しているときは、午前 6 時 1 分の自動受信は行いません。
・1 回の電波受信は約 2 ~ 16 分間（リセット直後の電波受信は約 4 ~ 16 分間）です。
・電波を受信中はボタン操作をしないでください（電波受信を終了します）。

5 電波受信の結果を見ます

電波の受信に成功すると「OK」マークと「」マークが点灯します。



①ボタン (スヌーズ/ライト)

ライトを点灯するときに押します。約5秒間ライトが点灯します。アラーム報音中に音を止めると同時に押します。

②ボタン (アラームセット + -)

アラーム時刻（または現在時刻など）を合わせるときに使います。

③スイッチ (スヌーズ オン オフ)

アラームのスヌーズ/オン/オフを切り替えるときに使います。

④ボタン (電波受信)

すぐに電波を受信したいときに押します（手動受信）。

⑤ボタン (アラームモニター)

アラームの音を試聴するときに押します。

⑥ボタン (最高/最低)

今日と前日の最高温度、最低温度、最高湿度、最低湿度を見るときに使います。

⑦スイッチ (自動点灯 入 切)

入…アラームをスヌーズまたはオンにすると、夜見えライトが自動的に点灯します。
切…夜見えライトは点灯しません。

⑧ボタン (SET)

現在時刻などを合わせるときに使います。

⑨ボタン (RESET)

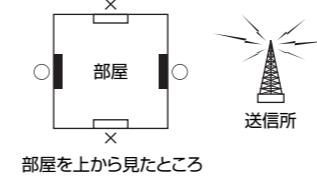
電池交換後、必ず押します。

・ボタンが押しにくい場合は先端の細いもので押してください（製品を傷つけないようご注意ください）。

★図は操作説明用ですので、実際の製品とはデザインなどが異なることがあります。

電波を受信しにくい場合

● 電波を受信しにくい場合



部屋を上から見たところ

電波受信は地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯（昼／夜）などによって変わります。
「電波時計について」の「使用場所について」および「正しく電波受信するために」もご参照の上、「電波受信の方法」を試して 1 ~ 2 週間様子を見てください。

<電波受信の方法>

・スヌーズアラーム機能（「アラームの使い方」参照）が機能している間（スヌーズマーク点滅）は、操作できません。スヌーズアラーム機能を解除してから操作してください。
・本機の向きや場所を変えて ④ ボタンを押してください（再度、電波受信を行います）。

● 電波を受信しにくい状態が続く場合

・電波受信により、時刻修正できないときに以下の操作を行ってください。
以下の操作で時刻を修正すると、修正後 24 時間は自動受信は行いませんのでご注意ください。
・アナログ針は、セットした時刻に合わせて自動的に修正されます。

1 セット表示に切り替えます

・⑧ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります（「各部の名称と表示の見方」参照）。
・スヌーズアラーム機能（「アラームの使い方」参照）が機能している間（スヌーズマーク点滅）は、操作できません。スヌーズアラーム機能を解除してから操作してください。



⑧ボタン ↓ <年セッティング表示> ↑ ⑧ボタン ↑ <コントラストセッティング表示>

⑧ボタン ↓ <日付時刻セッティング表示> ↑ ⑧ボタン ↑ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー>

⑧ボタン ↓ <日付時刻セッティング表示> ↑ ⑧ボタン ↑ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー>

⑧ボタン ↓ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー> ↑ ⑧ボタン ↑ <日付時刻セッティング表示>

⑧ボタン ↓ <日付時刻セッティング表示> ↑ ⑧ボタン ↑ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー>

⑧ボタン ↓ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー> ↑ ⑧ボタン ↑ <日付時刻セッティング表示>

⑧ボタン ↓ <日付時刻セッティング表示> ↑ ⑧ボタン ↑ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー>

⑧ボタン ↓ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー> ↑ ⑧ボタン ↑ <日付時刻セッティング表示>

⑧ボタン ↓ <日付時刻セッティング表示> ↑ ⑧ボタン ↑ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー>

⑧ボタン ↓ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー> ↑ ⑧ボタン ↑ <日付時刻セッティング表示>

⑧ボタン ↓ <日付時刻セッティング表示> ↑ ⑧ボタン ↑ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー>

⑧ボタン ↓ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー> ↑ ⑧ボタン ↑ <日付時刻セッティング表示>

⑧ボタン ↓ <日付時刻セッティング表示> ↑ ⑧ボタン ↑ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー>

⑧ボタン ↓ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー> ↑ ⑧ボタン ↑ <日付時刻セッティング表示>

⑧ボタン ↓ <日付時刻セッティング表示> ↑ ⑧ボタン ↑ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー>

⑧ボタン ↓ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー> ↑ ⑧ボタン ↑ <日付時刻セッティング表示>

⑧ボタン ↓ <日付時刻セッティング表示> ↑ ⑧ボタン ↑ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー>

⑧ボタン ↓ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー> ↑ ⑧ボタン ↑ <日付時刻セッティング表示>

⑧ボタン ↓ <日付時刻セッティング表示> ↑ ⑧ボタン ↑ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー>

⑧ボタン ↓ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー> ↑ ⑧ボタン ↑ <日付時刻セッティング表示>

⑧ボタン ↓ <日付時刻セッティング表示> ↑ ⑧ボタン ↑ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー>

⑧ボタン ↓ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー> ↑ ⑧ボタン ↑ <日付時刻セッティング表示>

⑧ボタン ↓ <日付時刻セッティング表示> ↑ ⑧ボタン ↑ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー>

⑧ボタン ↓ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー> ↑ ⑧ボタン ↑ <日付時刻セッティング表示>

⑧ボタン ↓ <日付時刻セッティング表示> ↑ ⑧ボタン ↑ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー>

⑧ボタン ↓ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー> ↑ ⑧ボタン ↑ <日付時刻セッティング表示>

⑧ボタン ↓ <日付時刻セッティング表示> ↑ ⑧ボタン ↑ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー>

⑧ボタン ↓ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー> ↑ ⑧ボタン ↑ <日付時刻セッティング表示>

⑧ボタン ↓ <日付時刻セッティング表示> ↑ ⑧ボタン ↑ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー>

⑧ボタン ↓ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー> ↑ ⑧ボタン ↑ <日付時刻セッティング表示>

⑧ボタン ↓ <日付時刻セッティング表示> ↑ ⑧ボタン ↑ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー>

⑧ボタン ↓ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー> ↑ ⑧ボタン ↑ <日付時刻セッティング表示>

⑧ボタン ↓ <日付時刻セッティング表示> ↑ ⑧ボタン ↑ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー>

⑧ボタン ↓ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー> ↑ ⑧ボタン ↑ <日付時刻セッティング表示>

⑧ボタン ↓ <日付時刻セッティング表示> ↑ ⑧ボタン ↑ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー>

⑧ボタン ↓ <曜日自動計算機能付きフルオートカレンダー> ↑ ⑧ボタン ↑ <日付時刻セッティング表示>